

1. 科目名 (単位数)	臨床心理面接特論Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	PSMP5189
2. 授業担当教員	鶴 光代		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	S(15)
7. 講義概要	臨床心理面接の理論と方法についての論文や事例研究論文を通して、面接の方法と援助プロセスの意義、心理臨床における研究倫理について講義する。近年、チーム医療、チーム学校といった支援が重要視されているゆえ他領域専門職との連携・協働について事例を通して解説する。また、他領域専門職が求める心理職のコンピテンシーについても説明する。 臨床心理面接の実際を、事例アセスメントと見立て、面接の流れの読み取り、心理面接におけるクライアントの変化・成長への援助、クライアントの有意義な変化と終結について、受講者全員と討議し、臨床心理面接についての実感的学習を促す。		
8. 学習目標	臨床心理面接について、事例論文を通して、個々のクライアントの問題に沿った援助の考え方や方法、および他領域専門職との連携・協働を学ぶ。また、ロールプレイングによる体験的学習を通して、臨床心理面接の実際を実感的に学ぶ。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	アサイメント：指定された心理面接に関する論文を読んで、まとめて発表する。 レポート：代表的な心理面接の事例を参考に、自ら実践する場合を想定して、心理面接の方法や工夫を提案する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 鶴光代・津川律子編『シナリオで学ぶ心理専門職の連携・協働』誠信書房、2018 【参考文献】 C.R.ロジャース著 末武泰弘他訳『カウンセリングと心理療法』岩崎学術出版社、2005年。 成瀬悟策編『動作のこころ 臨床編』誠信書房、2007年。 鶴光代『臨床動作法への招待』金剛出版、2007年。 田中新正・鶴光代 他編著『催眠心理面接法』金剛出版、2020年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 課題レポートにおいて、臨床心理面接の方法とプロセスにみる意義、および心理面接における他領域専門職との連携・協働について記述した。 授業での発表において、事例アセスメントと見立て、面接の流れの読み取り、心理面接におけるクライアントの変化・成長への援助、終結について説明し、議論へ参加した。 ○評定の方法 授業での発表や議論への参加 50%、課題レポートでの達成レベル 50%		
12. 受講生へのメッセージ	臨床心理面接に関する事例の実感的読み取りやロールプレイング等を通して心理臨床のセンスを養ってください。		
13. オフィスアワー	木曜日 12:30~15:00 (研究室)		
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】		
1~2. テーマ	チーム医療における臨床心理面接の展開		
	【学習の目標】 研究倫理についての理解を深める。チーム医療におけるクライアントの変化・成長と他専門職との連携・協働について理解を深める。 【学習の内容】 「学術振興会・研究倫理eラーニング」の実施を通して、研究倫理を身に着ける。研究倫理を学ぶチーム医療における援助の仕方とクライアントの変化について、その意義を検討し終結について学ぶ。 【キーワード】 心理職のコンピテンシー、チーム医療 【学習の課題】 チーム医療における他専門職との連携・協働の意義について考える。		
3~4. テーマ	スクールカウンセリングにおける臨床心理面接の展開		
	【学習の目標】 スクールカウンセリングにおけるクライアントの変化・成長と他専門職との連携・協働について理解を深める。 【学習の内容】 チーム学校における援助の仕方とクライアントの変化について、その意義を検討し終結について学ぶ。事例研究としての研究倫理について理解を深める。 【キーワード】 スクールカウンセラー、チーム学校 【学習の課題】 学校における他専門職との連携・協働の意義について考える。		
5~6. テーマ	福祉領域における臨床心理面接の展開		
	【学習の目標】 福祉領域におけるクライアントの変化・成長と他専門職との連携・協働について理解を深める。 【学習の内容】 クライアントと親、支援者への援助の仕方とクライアントの変化について、その意義を検討し終結について学ぶ。 【キーワード】 児童養護施設、クライアントと関係者への援助の仕方、 【学習の課題】 福祉領域の心理士による他専門職との連携・協働の意義について考える。		
7~8. テーマ	司法・矯正領域における臨床心理面接の展開について		
	【学習の目標】 司法・矯正領域におけるクライアントの変化・成長と他専門職との連携・協働について理解を深める。 【学習の内容】 少年鑑別所における少年と親への援助の仕方と、援助の意義を検討し終結について学ぶ。 【キーワード】 少年鑑別所、心理技官、少年サポートセンター 【学習の課題】 司法・矯正領域における他専門職との連携・協働の意義について考える。		
9~10. テーマ	産業・労働領域における臨床心理面接の展開について		
	【学習の目標】 産業・労働領域におけるクライアントの変化・成長と他専門職との連携・協働について理解を深める。 【学習の内容】 企業内相談室における対象者への援助の仕方と復職支援について、その意義を検討し終結について学ぶ。 【キーワード】 ストレスチェック、職場での支援、復職支援 【学習の課題】 企業内相談室の心理士による他専門職との連携・協働の意義について考える。		
11. テーマ	私設・開業領域における臨床心理面接の展開について		
	【学習の目標】 私設・開業領域におけるクライアントへの援助の特徴と他専門職との連携・協働について理解を深める。 【学習の内容】 クライアントとの出会い、継続面接、他専門職との連携・協働、終結について学ぶ。 【キーワード】 自由度のある援助、職業倫理、責任分担 【学習の課題】 開業心理士の他専門職との連携・協働の意義について考える。		
12~13. テーマ	臨床催眠法による面接		
	【学習の目標】 臨床催眠法の特徴を活かした面接について、その特徴を理解する。 【学習の内容】 臨床催眠法による事例を基にその面接方法と無意識活動の特徴を学ぶ。事例にまとめる際の研究倫理を理解する。 【キーワード】 メスメル、催眠イメージ法、無意識活動 【学習の課題】 臨床催眠法についてその特徴を理解する。		
14~15. テーマ	臨床動作法による面接 (理論と技法)		
	【学習の目標】 臨床動作法の理論と技法を通して臨床心理面接の意義について理解する。		

【学習の内容】臨床動作法における体験治療論や課題努力法について理解を深め、「動作」の心理臨床的意義を学ぶ。  
【キーワード】動作課題、体験の内容と様式、体験治療論  
【学習の課題】臨床動作法の理論を通して臨床心理面接の特徴を理解する。